

平成30年度研究課題一覧

三重県農業研究所

No.	研究課題名 (担当室 課名)	研究期間
基盤技術研究室 フード・循環研究課		
1	ビタミンK高含有モロヘイヤの開発	H30年
2	農業のスマート化促進事業「伊勢茶プロジェクト」	H30～31年
3	麦類・大豆の多収阻害要因の解明と改善指標の開発に基づく安定多収生産技術の確立	H27～31年
4	生産コストの削減に向けた効率的かつ効果的な施肥技術の開発	H27～31年
5	生産コストの削減に向けた有機質資材の活用技術の開発	H27～31年
6	生産コスト低減及び塩基溶脱の低減が可能な肥効調節型尿素の検討	H27～30年
7	コメ中ヒ素低減のための生産現場で実用性の高い水管理技術の開発	H30～32年
8	大豆における新規腐植酸資材の効果検証と適性施用体系の確立	H30～31年
9	農地土壌温室効果ガス排出量算定基礎調査(有機物連用試験)	S51年～
10	土壌適正管理・調査事業(土壌モニタリング調査)	S59年～
基盤技術研究室 農産物安全安心研究課		
11	生物・物理・化学の力を総合的に利用したトマト地上部病害虫の新防除体系の開発	H26～30年
12	麦類・大豆の多収阻害要因の解明と改善指標の開発に基づく安定多収生産技術の確立	H27～31年
13	AIを活用した病害虫診断技術の開発	H29～33年
14	AIを活用した土壌病害診断技術の開発	H29～33年
15	微生物殺虫剤を用いた野菜重要病害虫のデュアルコントロール技術の開発	H29～31年
16	食の安全・安心確保対策病害虫防除推進事業	H30年
17	深紫外LEDで創世される産業連鎖プロジェクト	H30～33年
18	新農薬の実用化に関する研究	H30年
生産技術研究室 地域連携研究課		
19	農作物被害を軽減するための包括的な獣害対策技術・手法の確立	H28～H31年
20	ICTを用いた総合的技術による、農と林が連動した持続的獣害対策技術体系の確立	H28～H30年
21	野生鳥獣被害拡大への対応技術の開発	H28～H32年
22	東京オリ・パラ対応「広がれGAPの輪」推進支援事業	H30年
23	農業と福祉の新たな連携創出事業	H28～H31年
24	新たな農業の担い手発掘事業	H29年～
25	既存の機械を活用したごまの機械収穫・調整作業の機械化	H29～H31年
26	みえの産直施設機能強化事業	H30年
27	次世代の果樹栽培法「根圏制御栽培法」導入実践による産地活性化	H28～H30年
28	亜熱帯果樹における国産化可能性の分析と栽培技術の開発	H28～H30年
29	新農薬の実用化に関する研究	H30年

No.	研究課題名 (担当室 課名)	研究期間
生産技術研究室 農産研究課		
30	ポストコシヒカリを目指した新品種の育成	H30～36年
31	実需者等のニーズに応じた加工適性と広域適応性を持つ大豆品種等の開発	H26～30年
32	麦類・大豆の多収阻害要因の解明と改善指標の開発に基づく安定多収生産技術の確立	H27～31年
33	台風常襲地帯における安定多収栽培技術の確立と現地実証(稲WCS)	H27～31年
34	高速汎用播種機の播種試験	H27～31年
35	原種及び奨励品種決定調査事業 優良品種の選定	～H30年～
36	新農薬の実用化に関する研究	H30年
37	既存の機械を活用したゴマの収穫・乾燥・調製作業の機械化	H29～H31年
38	水稻生産力検定受託試験	H30年
39	硬質もち小麦の特性を利用した新商品の開発	H30年
40	自動操舵補助システムを活用した高速高精度播種体系の確立	H30～32年
生産技術研究室 野菜園芸研究課		
41	SIPトマトのオミクス利用による新世代栽培技術開発	H26～30年
42	植物工場パイロット事業	H30年
43	水稻育苗施設を利用した省力的いちご栽培方法の確立	H30年
44	深紫外線LEDによる培養液殺菌装置の開発	H30～33年
45	種子繁殖型イチゴ「よつぼし」の全国展開に向けた省力栽培体系とICTネットワークの確立	H28～30年
46	三重オリジナルの高品質種子繁殖型イチゴ品種の開発	H30～32年
47	三重なばな新系統の安定生産技術の開発	H28～30年
茶業・花植木研究室 茶業研究課		
48	農業のスマート化促進事業「伊勢茶プロジェクト」	H30～H31年
49	茶育成系統評価試験	～H30年～
50	実需者の求める色・香味・機能性成分に優れた茶品種とその栽培・加工技術の開発	H26～H30年
51	新品種の導入に意欲的な生産者を支えるための挿し木技術の確立	H30年
52	伊勢茶の欧米への輸出拡大に向けた病害虫管理技術の開発	H30年
53	新農薬の実用化に関する研究	H30年
茶業・花植木研究室 花植木研究課		
54	薬用植物の新規需要開拓に向けた生産技術の開発	H30年
55	薬用植物の国内生産の拡大に向けた技術の開発	H28～32年
56	新農薬の実用化に関する研究	H30年
伊賀農業研究室 伊賀農業研究課		
57	農業のスマート化促進事業「伊賀米プロジェクト」	H30～31年

No.	研究課題名 (担当室 課名)	研究期間
58	原種及び奨励品種決定調査事業・優良品種の選定(水稲、麦、大豆)	～H30年～
59	温暖化の進行に伴い発生が助長するごま葉枯病に対する抵抗性品種・系統の開発	H27～31年
60	県内実需者が求める新しい大豆品種の適性試験	H24年～
61	実需者等のニーズに応じた加工適性と広域適応性を持つ大豆品種等の開発	H26～30年
62	台風常襲地帯における安定多収栽培技術の確立と現地実証	H27～31年
63	高品質な硬質コムギの生産を可能とする省力施肥技術の確立	H29～31年
64	新農薬の実用化に関する研究	～H30年～
紀南果樹研究室 紀南果樹研究課		
65	クリプトキサンチンの供給源となる国産カンキツの周年供給技術体系の実証	H28～30年
66	アボカド、パッションフルーツなど亜熱帯果樹における国産化可能性の分析と栽培技術の開発	H28～30年
67	ドローンとディープラーニングを活用した産地情報収集と高品質ミカン栽培技術の開発	H30～32年
68	ドローンやセンシング技術を活用した果樹の病害虫防除管理効率化技術の開発	H30～34年
69	三重県産カンキツオリジナル品種の育成	H30～32年
70	みえブランドカンキツ品種等の産地強化支援技術の開発	H30年
71	東紀州地域の高品質カンキツ生産を支える新しい品種の適応試験(カンキツ系統適応性検定試験)	H30年
72	新農薬の実用化に関する研究	H30年